

トピックス

「重症急性呼吸器症候群(SARS)」関連情報(第 11 報)

【平成 15 年 5 月 28 日現在】

カナダのトロントが「SARSの地域内伝播が最近発生している地域」に再び指定されました。一方、我が国では未だ国内でSARSと確認された症例はありませんが、SARSを発症した台湾の医師が関西地方を旅行した事実を考えてみても、この地域へのSARSの侵入も十分考えられます。SARSに関する情報が毎日メディアによって流されていますが、SARSの臨床経過や予防方法等についてWHOや我が国の感染症研究所等が報告している現時点の内容をまとめますと以下ようになります。

1 臨床経過等について

- 1) 最長の潜伏期間：10日間
- 2) 主な症状：発熱(93.3%)、悪寒(58%)、倦怠感(55.9%)、頭痛(42.6%)、筋肉痛(42.8%)、筋硬直(35.9%)、咳(45.8%)、咽頭痛(18.3%)、下痢(17.5%)等
(患者数：約1,700名、香港・健康福祉食品局5月22日現在)
- 3) SARSの重症度は多種多様であり、現時点では信頼性の高い検査法が無いため、従来 of 症例定義に基いて診断すること。したがって、検査結果を待って報告を遅らせてはならないこと、検査結果が陰性の場合でも報告を取り下げないこととし、現時点ではあくまで検査は補助的なものであることが強調されている。また、検査手技に関しても、精度管理の徹底と2重のチェックを必要としている。
*** 重症急性呼吸器症候群の検査法については衛生研究所のホームページをご覧ください。**(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/sars.html>およびhttp://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/sars_kensa.pdf)
- 4) 上記3)に述べたことから、特に流行地域(症例定義のWHOが公表した最近地域内でSARSの伝播が発生している地域参照)においては、軽症なSARS症例も、重症なものと同様な予防措置を講じて治療にあたらなければならないとされている。
- 5) 香港のアモイ・ガーデンで発生した患者75名の臨床段階(その他多くの症例とは異なり、下痢の出現や高い重症度などの特徴を持つとされている)について、Lancetに掲載された内容
・第一段階：疾患の最初の週は発熱と筋肉痛、その他の症状が特徴で、数日の間に軽快する。
・第二段階：感染力が最も強い第二週目には、患者は頻繁に繰り返される発熱、下痢、酸素飽和度の低下を見る。
・第三段階：20%の患者が人工呼吸器による換気が必要とする急性呼吸窮迫症候群に代表される第三相へ進行する。
- 6) 全体の致死率：14~15%であるが、年齢、性別、基礎疾患や合併症(免疫不全症、糖尿病、心疾患、呼吸器疾患、B型肝炎感染等)の有無、喫煙、治療法によって致死率は大きく異なる(患者の年齢別の死亡率：24才以下では1%未満、25才~44才では6%、45才~64才では15%と年齢と共に上昇し、65才以上では50%以上)。

2 予防方法等について

- 1) 原因：普通のかぜ（インフルエンザではなく）の原因となるウイルスの1つであるコロナウイルスの新種「SARSコロナウイルス（SARS-CoV）」による。
- 2) 感染経路：症例のほとんどが医師や看護師、それに患者と同居する家族など患者との濃厚接触者から多くの患者が発生していることから、現時点では、2m以内での咳やくしゃみ等の飛沫による直接感染（空気感染とは異なる）又は飛沫、喀痰、糞便、尿等の体液が付着した物を介したり、直接それらに接触することによる接触感染と考えられている。そのため、特に手洗いの励行を主体としたうがいなども含めた一般的な衛生状態の保持は有効と考えられる。
- 3) 消毒方法等
 - ・消毒用エタノールなどの一般に用いられている消毒剤によって5分程度で感染力がなくなることが報告されている。
 - ・手などは、石鹸での感染性の不活化は困難なため、機械的にこすり落とすことが効果的。また、消毒用エタノールを頻回に使用すると、その脱脂効果のため皮膚が荒れることがあるので、皮膚に使用する場合はふき取る程度にとどめるなどの注意が必要とされている。
 - ・家庭・職場におけるドアノブ等の手に触れる場所やトイレ等の消毒には、家庭用漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム5%濃度で含有）を50～100倍程度に希釈してふき取りや洗浄等を行うことが勧められている
- 4) ウイルスが種々の条件下でどのくらい生きているのかを研究したデータについて（但し、未確定）
 - ・正常な便中では室温で6時間程度しか生存できなかったものが下痢症状の患者便中（pH9のアルカリ性）では最高4日間程度生存
 - ・56℃で加熱することにより急速に死滅する（30分未満）。
 - ・4℃と-80℃では、培養液中で3週間程度生存
 - ・便中に含まれたウイルスは、プラスチック、ステンレススチール、スライドガラス等の物質の表面で、3～4日間程度は生存
- 5) 航空機内の安全性について
「可能性例」の患者から航空機内で感染したと考えられるのは4事例あり、患者の搭乗が確認されているその他の31機では、感染は発生していない（WHO：5月24日現在）。機内での感染が考えられる患者は総数27名であり、3月15日の香港-北京便で22名の感染が発生したが、3月23日以降は発生していない。いずれにしても、現在は搭乗者の症例定義に基づくスクリーニングが実施されている上に、機内の換気状態も良好で飛沫感染（空気感染とは異なる）が主な感染経路のため、患者の近くの席（2m以内）に座るなどしなければ、感染の可能性は非常に少ないと考えられる。
- 6) 発症前10日以内にSARSの「疑い例」・「可能性例」を看護若しくは介護していた者、同居していた者、又は気道分泌物若しくは体液に直接接触した者、又は
発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域（WHOが公表した最近地域内でSARSの伝播が発生している地域）へ旅行した者、又は移住していた者のうち、38度以上の急な発熱及び咳、呼吸困難等の呼吸器症状を示している人、
のいずれかに該当する人は、必ず前もって電話等で医療機関または保健所へ連絡を取った後、その指示に従って受診されることが大切です。



現在の状況

WHOは5月27日現在、SARSの地域内伝播が最近発生している地域として、香港、中国（北京、広東省、河北省、湖北省、内蒙古自治区、吉林省、江蘇省、山西省、陝西省、天津）、台湾（全域）、シンガポール、カナダ（トロント）を報告しています（5月26日にカナダ（トロント）が再指定されました。症例定義参照）。

現在のところ（5月28日現在）、WHOは中国（北京、河北省、天津、山西省、内蒙古自治区）、台湾（全域）への、CDC（米国疾病対策センター）は香港、中国全土、台湾への不要不急な旅行の延期を勧告しており、我が国の外務省もこれらの地域への不要不急な旅行の再考勧告を含む海外渡航危険情報を出し、注意をうながしています。

WHOによると、これまでに8,240名の患者（疑いを含む）（中国本土で5,323人、香港で1,730人、台湾で610人、シンガポールで206人、カナダ・トロントで149人等）と745名の死亡者が報告されています。一方、5月28日時点での回復例として4,891名が報告されています。我が国では5月28日現在67例（「疑い例」（51例）、「可能性例」（16例））が厚生労働省より報告されていますが、SARSと確認された症例はありません。

愛知県は4月16日、「愛知県SARS対応行動計画（暫定版）」を発表した。この「愛知県SARS対応行動計画」は、

[健康対策課のホームページ](#)

（<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/sars/index.html>）

からダウンロードできます（この暫定版は現在、改正中です）。

SARSは現在、感染症法上の「新感染症」として取り扱うとされ、エボラ出血熱など**1類の疾患**と同様な対処が求められています（厚生労働省、3月14日付の通知）。これにより、以下の条件（症例定義）を満たす疾患はその全てを報告する必要があります。

< SARS 疑い例及び可能性例の届出のための症例定義 >

【平成15年5月9日から適用】

疑い例

- 平成14年11月1日以降に、38度以上の急な発熱及び咳、呼吸困難等の呼吸器症状を示して受診した者のうち、次のいずれか1つ以上の条件を満たす者
 - 発症前10日以内にSARSの「疑い例」・「可能性例」を看護若しくは介護していた者、同居していた者、又は気道分泌物若しくは体液に直接接触した者
 - 発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域*（WHOが公表したSARSの伝播確認地域）へ旅行した者
 - 発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域*（WHOが公表したSARSの伝播確認地域）に居住していた者
- 平成14年11月1日以降に死亡し、病理解剖が行われていない者のうち、上記1の(1)~(3)のいずれか1つ以上の条件を満たす者

可能性例

疑い例のうち、次のいずれかの条件を満たす者

- 胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者
- 病理解剖所見が呼吸窮迫症候群の病理所見として矛盾せず、はっきりとした原因がないもの
- SARSコロナウイルス検査の1つ又はそれ以上で陽性となった者

除外基準（新たに追加）

他の診断によって症状が説明できる場合は除外する

この症候群の「最近の地域内伝播」が発生している地域

(5月27日 WHO公表)

| 国名 | 地域 | 地域内感染伝播のパターン |
|-----------------|---------------------|--------------|
| カナダ | トロント | B |
| 中国 | 北京 [!] | C |
| | 広東 | C |
| | 河北省 [!] | B |
| | 香港中国特別行政区 | B |
| | 湖北省 | A |
| | 内蒙古自治区 [!] | C |
| | 吉林省 | B |
| | 江蘇省 | A |
| | 山西 [!] | C |
| | 陝西省 | A |
| | 天津 [!] | C |
| 台湾 [!] | C | |
| シンガポール | シンガポール | B |

その地域内での感染が最も強く疑われる複数のSARS可能性例が報告された地域（最後に報告された可能性例が死亡したり、または隔離されてから20日間、新しい症例が確認されなかった場合にはその地域はリストから除外される。）

【パターン A】

輸入されたSARSの「可能性症例」患者と直接個人的な接触があった人達の間だけに二次感染による「可能性症例」患者が発生しているパターン

【パターン B】

パターンAによる二次感染「可能性症例」患者から、これらの患者との接触が前もって確認されていた人達の間、さらに「可能性症例」患者が発生しているパターン

【パターン C】

「可能性症例」患者との接触が前もって確認されていない人達の間にも「可能性症例」患者が発生しているパターン

【不確定】

地域での感染伝播の明確な場所や程度を特定する情報が不足している場合

! WHO から 不要不急な旅行の再考勧告が出されている地域（5月28日現在）

5月26日、トロント（カナダ）が再指定されました。

参考

WHO (<http://www.who.int/en/>)

Severe Acute Respiratory Syndrome (SARS) を参照してください。

厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp/index.html>)

東南アジア等で流行している「重症急性呼吸器症候群」関連情報

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1.html>) および

伝播確認地域 (<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1e.html>) を参照してください。

感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

緊急情報 重症急性呼吸器症候群(<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/update.html>) および

伝播確認地域 (<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/area-55.html>) を参照してください。

流行状況

| 疾患名 | 前週 | 今週 | 備考 |
|-----------------------------|----------|----------|---|
| <u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u> | 1.6 | 1.7 | レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症 |
| 手足口病 <u>夏のウイルス感染症</u> | 0.7 | 1.4 | 夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染。口の中、手や足の先の水疱性発疹 |
| 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 0.69 | 0.80 | |
| ヘルパンギーナ <u>夏のウイルス感染症</u> | 0.34 | 0.69 | 夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍 |
| 咽頭結膜熱 | 0.10 | 0.19 | 発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症 |
| <u>感染性胃腸炎</u> | 3.2 | 3.1 | |
| <u>水痘</u> (みずぼうそう) | 2.3 | 2.2 | |
| 流行性角結膜炎 | 0.80 | 0.74 | 眼結膜・角膜の炎症を主症状とするアデノウイルス感染症(重症例では視力障害を残す) |
| <u>麻疹(はしか)</u> | 0.04 | 0.03 | 予防にはワクチンが有効 |
| <u>マイコプラズマ肺炎</u> | 4例 | - | マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 2定点からコメントでの患者発生報告あり |
| 無菌性髄膜炎 | 1例 | - | 細菌以外のウイルス等による髄膜炎のこと 1定点からコメントでの患者発生報告あり |

| 定点当たり報告数 | 定点当たり報告数 | 定点当たり報告数 |
|----------|----------|----------|
| 横ばい | 増加 | 減少 |

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O1 14歳男、64歳女
病原性大腸菌O4 5歳女
病原性大腸菌O6 84歳女
病原性大腸菌O7 2歳男
病原性大腸菌O18 1歳男、3歳男
病原性大腸菌O25 3歳女、4歳女
病原性大腸菌O125 2歳男
エンテロウイルス感染症が急増しました。
胃腸症状を伴う方も多いようです。

【尾西市 城後小児科】

感染性胃腸炎目立ちました。
11歳男 カンピロバクター腸炎

【一宮市 あさのこどもクリニック】

手足口病が流行中です。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

水痘 多発しています。
胃腸炎も多く、点滴者が多いようです。
無菌性髄膜炎2例あり。今年もECHO13型でしょうか？

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

57歳男 マイコプラズマ感染症

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染が多くみられます。
3～4日高熱の疾患もあります。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週も溶連菌感染症、水痘多数有り、流行続けております。
細菌性腸炎が少し目立ちます。（カンピロバクター、病原性大腸菌等、
いずれも幼児）

その他マイコプラズマ肺炎も数例ありました。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

水痘が増えてます。
溶連菌感染症、リンゴ病、おたふく、少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ロタ（-）胃腸炎あり。

【小牧市 小牧市民病院】

手足口病、伝染性紅斑が増加傾向でしょうか。

【小牧市 志水こどもクリニック】

単純ヘルペス 1名

【東海市 東海市民病院】

伝染性紅斑がみられる様です。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

西三河地区

1歳女 病原性大腸菌 V T (-)

【岡崎市 花田こどもクリニック】

1歳女、5歳男 病原性大腸菌 O 6 V T (-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

18歳男 カンピロバクター

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

手足口病が目立ってきました。

【西尾市 山岸クリニック】

15歳男 ヘルパンギーナ

【西尾市 やすい小児科】

ヘルパンギーナ散発

1歳男 カンピロバクター

4歳女 カンピロバクター + 病原性大腸菌 O 1 V T (-)

5歳男 病原性大腸菌 O 25 V T (-)

【幸田町 とみた小児科】

マイコプラズマ肺炎 11歳男、3歳女2例、1歳男

溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎が流行しています。

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

熱発児が目立ちます。手足口病は田原町に隣接する豊橋地区で流行していません。

【田原町 かわせ小児科】

1～3類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

細菌性赤痢

| 番号 | 報告 保健所 | 年齢 | 性別 | 発病 月日 | 初診 月日 | 診定 月日 | 菌型等 | 備考 |
|----|-----------|----|----|----------|----------|----------|-----|------------|
| * | 豊田市 | 59 | 男 | 5 / 2 | 5 / 12 | 5 / 12 | | 20週分追加訂正報告 |

全数把握の4類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

急性ウイルス性肝炎 A 型 1例

第19週(15年5月5日~5月11日)の4類感染症 (全国)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、引き続き過去5年間の同時期と比較してかなり多く、過去10年間との比較でも最高の値となっている。都道府県別では大分県(1.3)、福井県(1.0)、島根県(0.9)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し0.20で、過去4年間の同時期の平均と比較して約2倍となっている。都道府県別では青森県(0.7)、秋田県(0.7)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、依然として過去10年間との比較では2000年に次ぐ高値となっている。都道府県別では富山県(3.1)、山形県(2.8)、宮崎県(2.5)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では富山県(4.7)、新潟県(4.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では宮崎県(2.3)、山口県(2.0)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は微減し、都道府県別では北海道(0.7)、群馬県(0.6)が多い。風疹の定点当たり報告数は微増したが、流行の見られている岡山県(0.7)では3週連続して減少が見られている。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微増し、都道府県別では鳥取県(0.8)、熊本県(0.8)、山口県(0.7)が多い。麻疹(成人麻疹を除く)は微増し、都道府県別では福島県(0.9)、栃木県(0.9)、鹿児島県(0.7)が依然として多い。成人麻疹の定点当たり報告数は増加し0.06で、都道府県別では静岡県(0.7)、群馬県(0.5)(いずれも集団発生が影響)が多い。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホ - ムペ - ジ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第21週 (平成15年5月19日～5月25日)

愛知県衛生研究所

| | 定点数 | | | | | インフルエンザ | 咽頭結膜熱 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘 | 手足口病 | 伝染性紅斑 | 突発性発疹 | 百日咳 | 風疹 | ヘルパンギーナ | 麻疹 | 流行性耳下腺炎 | 急性出血性結膜炎 | 流行性角結膜炎 | 急性脳炎 (日本脳炎を除く) | 細菌性髄膜炎 | 無菌性髄膜炎 | マイコプラズマ肺炎 | クラミジア肺炎 (オウム病は除く) | 成人麻疹 |
|------------------|---------|-----|----|-----|----|---------|-------|---------------|--------|-----|------|-------|-------|-----|----|---------|----|---------|----------|---------|-------------------|--------|--------|-----------|----------------------|------|
| | インフルエンザ | 小児科 | 眼科 | STD | 基幹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛知県 (名古屋市を含む) | 191 | 182 | 35 | 51 | 13 | 0 | 34 | 307 | 570 | 405 | 247 | 53 | 140 | 0 | 0 | 126 | 5 | 146 | 1 | 26 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 総数 (名古屋市は除く) | 121 | 112 | 24 | 37 | 12 | 0 | 26 | 210 | 394 | 299 | 200 | 44 | 115 | 0 | 0 | 63 | 4 | 115 | 1 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 名古屋市 | 70 | 70 | 11 | 14 | 1 | | 8 | 97 | 176 | 106 | 47 | 9 | 25 | | | 63 | 1 | 31 | | 7 | | | | | | |
| 尾張東部 | 瀬戸 | 9 | 9 | 2 | 3 | 1 | | 1 | 47 | 33 | 23 | 1 | 2 | 14 | | 8 | | 4 | | 1 | | | | | | |
| 海部津島 | 津島 | 7 | 7 | 2 | 2 | 1 | | 3 | 2 | 38 | 13 | 4 | | 3 | | 2 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| 尾張中部 | 師勝 | 4 | 4 | 1 | 1 | | | 6 | 26 | 2 | 6 | 1 | 6 | | | 1 | | 6 | | | | | | | | |
| 尾張西部 | 一宮 | 16 | 12 | 3 | 4 | 1 | | 16 | 64 | 24 | 76 | 3 | 17 | | | 3 | | 11 | | 1 | | | | | | |
| 尾張北部 | 春日井 | 9 | 9 | 2 | 3 | 1 | | 2 | 17 | 39 | 17 | 6 | 8 | | | | | 25 | | 2 | | | | | | |
| | 江南 | 6 | 6 | 1 | 2 | | | | 12 | 38 | 21 | 24 | 5 | 8 | | 1 | | 4 | | 2 | | | | | | |
| 知多半島 | 半田 | 6 | 6 | 1 | 2 | 1 | | 3 | 5 | 6 | | | 5 | | | | | 5 | | | | | | | | |
| | 知多 | 7 | 7 | 2 | 2 | | | 26 | 17 | 24 | 1 | 5 | 9 | | | 6 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 西三河南部 | 岡崎市 | 11 | 7 | 2 | 2 | 1 | | 1 | 14 | 3 | 25 | 24 | 6 | 9 | | 9 | | 11 | | 1 | | | | | | |
| | 衣浦東部 | 11 | 11 | 2 | 4 | 1 | | | 4 | 34 | 44 | 15 | 1 | 12 | | 5 | | 27 | | | | | | | | |
| | 西尾 | 5 | 5 | 1 | 2 | 1 | | | 6 | 14 | 8 | 8 | 2 | 3 | | 12 | | 3 | | 2 | | | | | | |
| 西三河北部 | 豊田市 | 8 | 8 | 2 | 3 | 1 | | | 14 | 14 | 39 | 4 | 3 | 7 | | 7 | | 9 | | 4 | | | | | | |
| | 加茂 | 3 | 3 | | 1 | | | | 10 | 1 | 3 | 1 | | 4 | | 4 | | 2 | | | | | | | | |
| 東三河南部 | 豊橋市 | 8 | 8 | 2 | 4 | 1 | | 17 | 25 | 43 | 30 | 14 | | 9 | | 1 | | 2 | 1 | 1 | | | | | | |
| | 豊川 | 9 | 8 | 1 | 2 | 1 | | 2 | 8 | 25 | 20 | 16 | 8 | 9 | | 4 | 1 | | | 4 | | | | | | |
| 東三河北部 | 新城 | 2 | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | |

愛知県感染症情報

2003年第1週～第21週(平成14年12月30日～平成15年5月25日)(累計)

愛知県衛生研究所

| | 定点数 | | | | | インフルエンザ | 咽頭結膜熱 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘 | 手足口病 | 伝染性紅斑 | 突発性発疹 | 百日咳 | 風疹 | ヘルパンギーナ | 麻疹 | 流行性耳下腺炎 | 急性出血性結膜炎 | 流行性角結膜炎 | 急性脳炎 (日本脳炎を除く) | 細菌性髄膜炎 | 無菌性髄膜炎* | マイコプラズマ肺炎 | クラミジア肺炎 (オウム病は除く) | 成人麻疹 |
|------------------|---------|-----|----|-----|----|---------|-------|---------------|--------|-------|------|-------|-------|-----|----|---------|----|---------|----------|---------|-------------------|--------|---------|-----------|----------------------|------|
| | インフルエンザ | 小児科 | 眼科 | STD | 基幹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛知県 (名古屋市を含む) | 191 | 182 | 35 | 51 | 13 | 47,884 | 327 | 3,892 | 20,755 | 7,791 | 893 | 600 | 2,397 | 24 | 25 | 334 | 63 | 2,032 | 23 | 413 | 1 | 3 | 6 | 53 | 0 | 1 |
| 総数 (名古屋市は除く) | 121 | 112 | 24 | 37 | 12 | 38,579 | 237 | 2,876 | 14,324 | 6,330 | 720 | 489 | 1,912 | 19 | 14 | 187 | 48 | 1,652 | 18 | 319 | 1 | 3 | 6 | 53 | 0 | 1 |
| 名古屋 | 70 | 70 | 11 | 14 | 1 | 9,305 | 90 | 1,016 | 6,431 | 1,461 | 173 | 111 | 485 | 5 | 11 | 147 | 15 | 380 | 5 | 94 | | | | | | |
| 尾張東部 | 瀬戸 | 9 | 9 | 2 | 3 | 1 | 2,755 | 33 | 403 | 784 | 280 | 10 | 8 | 116 | 3 | 1 | 18 | 4 | 194 | 1 | 18 | | | | | |
| 海部 | 津島 | 7 | 7 | 2 | 2 | 1 | 1,341 | 21 | 49 | 1,022 | 341 | 42 | 29 | 89 | 1 | 3 | 1 | 55 | | 11 | | | | 2 | | |
| 尾張中部 | 師勝 | 4 | 4 | 1 | 1 | | 1,378 | 1 | 44 | 866 | 52 | 19 | 14 | 33 | | 2 | 17 | 1 | 39 | | 8 | | | | | |
| 尾張西部 | 一宮 | 16 | 12 | 3 | 4 | 1 | 2,712 | 2 | 213 | 1,721 | 542 | 142 | 50 | 224 | 5 | 1 | 7 | 1 | 139 | 1 | 8 | | | 1 | | |
| 尾張北部 | 春日井 | 9 | 9 | 2 | 3 | 1 | 4,291 | 16 | 218 | 1,040 | 371 | 34 | 65 | 165 | 1 | 1 | 12 | 1 | 147 | | 27 | 1 | 2 | 2 | | 1 |
| | 江南 | 6 | 6 | 1 | 2 | | 1,520 | 12 | 157 | 1,328 | 309 | 86 | 27 | 137 | | | 7 | | 52 | | 22 | | | | | |
| 知多半島 | 半田 | 6 | 6 | 1 | 2 | 1 | 1,915 | 12 | 112 | 546 | 136 | 8 | 1 | 106 | | 1 | | 1 | 105 | | 10 | | | 1 | | 8 |
| | 知多 | 7 | 7 | 2 | 2 | | 2,364 | 11 | 240 | 935 | 375 | 19 | 12 | 140 | | | 12 | 20 | 28 | | 10 | | | | | |
| 西三河南部 | 岡崎市 | 11 | 7 | 2 | 2 | 1 | 4,159 | 2 | 172 | 124 | 672 | 42 | 49 | 212 | 2 | | 17 | 1 | 231 | 3 | 30 | | | | | |
| | 衣浦東部 | 11 | 11 | 2 | 4 | 1 | 5,878 | 13 | 261 | 950 | 787 | 64 | 54 | 184 | 3 | | 21 | 6 | 292 | | 61 | | | 2 | 5 | |
| | 西尾 | 5 | 5 | 1 | 2 | 1 | 1,190 | 9 | 155 | 548 | 328 | 32 | 42 | 77 | | | 28 | | 91 | | 13 | | | 1 | 4 | |
| 西三河北部 | 豊田市 | 8 | 8 | 2 | 3 | 1 | 2,408 | 17 | 129 | 906 | 613 | 21 | 25 | 120 | 3 | 8 | 21 | 4 | 184 | 7 | 64 | | | | 18 | |
| | 加茂 | 3 | 3 | | 1 | | 489 | 11 | 148 | 279 | 118 | 15 | 1 | 26 | | | 5 | | 26 | | | | | | | |
| 東三河南部 | 豊橋市 | 8 | 8 | 2 | 4 | 1 | 3,088 | 73 | 370 | 2,038 | 695 | 101 | 73 | 155 | 1 | | 8 | 5 | 22 | 4 | 22 | | | | 10 | |
| | 豊川 | 9 | 8 | 1 | 2 | 1 | 2,839 | 4 | 204 | 1,237 | 676 | 84 | 39 | 115 | | | 11 | 2 | 37 | 2 | 15 | | | | 6 | |
| 東三河北部 | 新城 | 2 | 2 | | | 1 | 252 | | 1 | | 35 | 1 | | | | | 1 | | 10 | | | | | | | |

* 春日井保健所から20週分の追加報告(無菌性髄膜炎1例)あり

愛知県感染症情報

2003年第1週～第21週(平成14年12月30日～平成15年5月25日)(累計)

愛知県衛生研究所

| 年齢階層 (名古屋市を除く) | インフルエンザ | 咽頭結膜熱 | A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘 | 手足口病 | 伝染性紅斑 | 突発性発疹 | 百日咳 | 風疹 | ヘルパンギーナ | 麻疹 | 流行性耳下腺炎 | 急性出血性結膜炎 | 流行性角結膜炎 | 急性脳炎 (日本脳炎を除く) | 細菌性髄膜炎 | 無菌性髄膜炎* | マイコプラズマ肺炎 | クラミジア肺炎 (オウム病は除く) | 成人麻疹 |
|-------------------|---------|-------|-------------------|--------|-------|------|-------|-------|-----|----|---------|----|---------|----------|---------|-------------------|--------|---------|-----------|----------------------|------|
| 計 | 38,579 | 237 | 2,876 | 14,324 | 6,330 | 720 | 489 | 1,912 | 19 | 14 | 187 | 48 | 1,652 | 18 | 319 | 1 | 3 | 6 | 53 | 0 | 1 |
| ～6ヶ月 | 518 | 1 | 4 | 160 | 158 | 7 | 4 | 152 | 3 | | 5 | | 2 | | 1 | / | / | / | / | / | / |
| ～12ヶ月 | 1,096 | 7 | 18 | 975 | 364 | 28 | 21 | 1,185 | 4 | 1 | 19 | 8 | 12 | | 7 | / | / | / | / | / | / |
| 0歳 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / |
| 1歳 | 3,227 | 46 | 74 | 2,343 | 1,151 | 152 | 24 | 535 | 3 | 2 | 52 | 10 | 82 | | 7 | / | / | / | 6 | / | / |
| 2歳 | 3,245 | 49 | 184 | 1,661 | 1,128 | 155 | 45 | 33 | 2 | 1 | 37 | 5 | 119 | 1 | 7 | / | / | / | 5 | / | / |
| 3歳 | 3,321 | 33 | 340 | 1,574 | 1,107 | 117 | 50 | 3 | | | 25 | 3 | 225 | | 10 | / | / | / | 4 | / | / |
| 4歳 | 3,516 | 33 | 560 | 1,399 | 1,114 | 110 | 74 | | 3 | 1 | 25 | 3 | 343 | | 6 | / | / | / | 5 | / | / |
| 5歳 | 2,262 | 27 | 543 | 1,069 | 687 | 52 | 65 | | 1 | 1 | 9 | 1 | 330 | 1 | 8 | / | / | / | / | / | / |
| 6歳 | 1,825 | 14 | 447 | 780 | 286 | 33 | 71 | 1 | | | 5 | 6 | 186 | | 1 | / | / | / | / | / | / |
| 7歳 | 1,466 | 10 | 221 | 619 | 115 | 18 | 40 | | 1 | 1 | 2 | 2 | 109 | | 2 | / | / | / | / | / | / |
| 8歳 | 1,304 | 3 | 150 | 496 | 80 | 7 | 40 | 2 | | 2 | 1 | 1 | 89 | | 2 | / | / | / | / | / | / |
| 9歳 | 1,336 | 2 | 87 | 397 | 41 | 3 | 14 | | | | 2 | 2 | 42 | | 1 | / | / | / | / | / | / |
| 5歳～9歳 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 1 | 7 | / | / |
| 10歳～14歳 | 4,859 | | 133 | 879 | 67 | 13 | 33 | 1 | 2 | 1 | 1 | 4 | 65 | 1 | 7 | / | / | / | 11 | / | / |
| 15歳～19歳 | 1,573 | | 9 | 241 | 8 | 1 | 1 | | | | 2 | 1 | 6 | | 9 | / | / | / | 2 | / | / |
| 20歳～ | / | 12 | 106 | 1,731 | 24 | 24 | 7 | | | 4 | 2 | 2 | 42 | | / | 1 | 3 | / | / | / | / |
| 20歳～29歳 | 2,768 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 8 | 53 | / | / | 2 | 4 | / | / |
| 30歳～39歳 | 3,054 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 1 | 72 | / | / | 1 | 4 | / | / |
| 40歳～49歳 | 1,182 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 1 | 32 | / | / | 2 | 2 | | 1 |
| 50歳～59歳 | 892 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 2 | 43 | / | / | | 1 | / | / |
| 60歳～69歳 | 597 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 1 | 30 | / | / | | 1 | / | / |
| 70歳～ | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 2 | 21 | / | / | | / | / | / |
| 70歳～79歳 | 351 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | | / | / | / |
| 80歳以上 | 187 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | | 1 | / | / |

* 春日井保健所から20週分の追加報告(無菌性髄膜炎1例)あり